

## ▼ジギラノゲン注 [注]

【重要度】★★★ 【TDM】 【一般製剤名】 デスラノシド deslanoside 【分類】 強心利尿剤

【単位】 ▼0.4mg/A [2mL]

【常用量】 維持量として1日 0.2~0.3mg

【用法】 静注 [im は疼痛あり]

【透析患者への投与方法】 減量の必要あり。ただし透析患者の投与方法に言及した文献はなく、薬物動態が解明されていないためジゴキシンを用いるのが望ましい (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要はあり。ただし、薬物動態が解明されていないためジゴキシンを用いるのが望ましい (5)

【特徴】 強心性糖体成分ラノシドCの脱アセチル化体。ジギタリス製剤の中では作用発現時間が早く持続時間は短い。

【主な副作用・毒性】 ジギタリス中毒、過敏症、女性化乳房、筋力低下など

【F】 80% (14)

【代謝】 ヒトでの代謝経路は不明 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 60% (14) 尿中に 28%排泄 [iv, 24hr まで] (1) 尿中排泄物のうち大部分は未変化体 [モルモット] (1)

【t1/2】 36hr (10) 44hr (14) 33hr (日病薬誌 33: 36,1997)

【蛋白結合率】 25% (10) 20% (1)

【Vd】 4.4L/kg (14)

【MW】 943.08

【透析性】 組織移行性が高いため、効率的には除去できないと思われる (5) 資料なし (1)

【TDMのポイント】 薬物動態が解明されていないため、ジゴキシンを用いて TDM を実施した方がよい (5) 中毒濃度 2.0~2.5ng/mL という報告と 4.0ng/mL 以上という報告あり (1) デスラノシド 1ng はジゴキシン約 0.83ng に相当し、FPIA 法でジゴキシン試薬を用いて測定された濃度×1.2 がデスラノシド濃度になる (河原昌美, 他: TDM 研究 23:268-271,2006) 【O/W 係数】 資料なし (1)

【効果発現時間】 10~30 分 (日病薬誌 33: 36,1997)

【効果持続時間】 3~6 時間 (日病薬誌 33: 36,1997)

【更新日】 20151228

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。